

# 営農情報

第10号 平成26年9月吉日

(水稻営農情報 号外)

福岡大城農業協同組合  
南筑後普及指導センター

## 水稻 ～トビイロウンカの発生に注意～

8月5半旬の病害虫防除所の調査結果によると、トビイロウンカの発生ほ場の約5割で短翅型雌成虫が確認され、その短翅率は約8割と非常に高く、ほ場によっては今後の急激な増殖による坪枯れが心配されます。

確認方法としては、ほ場の枕との境など、イネの生育が混みあっているところ、葉色が濃いところを中心に枕元にいるウンカを払い落とします。

特に以下のようなほ場は、念入りに観察を行って下さい。

- ① 他のほ場より田植えが早かったほ場（特に6/20以前に植えたもの）
- ② 他のほ場より葉色が濃いほ場
- ③ 「ヒノヒカリ」以降の中晩生品種



トビイロウンカ成虫（短翅）



トビイロウンカ成虫

ほ場により状況が異なりますので、必ず自分のほ場の枕元をよく確認し、発生が多い場合は下記のとおり補正防除を行ってください。

剤型	薬剤	10aあたり使用量 (希釈倍数)	使用時期
粉剤	スタークル粉剤DL	3kg	収穫7日前まで
液剤	スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫7日前まで

※ 防除を行う場合は、薬剤の使用時期を厳守してください。

※ 「つやおとめ」などの特別栽培米では、原則として補正防除はできません。